

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会 (第194回)」の開催

紫陽花もあちこちで咲き始め、南九州は梅雨入りしたようです。皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。さて第194回の「語る会」では、昨年度、宮崎大学大学院で現職院生として学修された秋吉先生に、研究課題の一つであった“中学校でのワークシート開発”について話題提供していただきます。

今回もオンラインと対面の両方でハイブリッド開催します。なお7月の「語る会」は、日本家庭科教育学会九州地区会・発表会のためお休みしますが、そちらへのご参加も可能です。お気軽にご検討下さい。

- 日時 : 2024年6月15日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時(参加費:無料)
- 場所 : 宮崎大学教育学部技術・家庭科棟T211教室 zoomは下記のアドレスに接続下さい↓
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=0E9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3lDQT09>
○ミーティングID: 831 0045 6711 ○パスコード: &8q.XLci
- 話題 : 実践につながる中学校衣生活領域のワークシートの開発
- 話題提供者 : 秋吉 理佳 (宮崎市立清武中学校)

「家庭科の授業を語る会 (第193回)」(2024年5月18日)の報告

○話題 : 持続可能な社会の担い手を育む小学校家庭科授業の創造

○話題提供者 : 清永 康代 (元熊本県公立小学校)

第193回の語る会では、清永先生に標記のテーマで、小学校での消費者教育プログラムの実践について話題提供して頂きました。

最初に、清永先生ご自身が小学校教員をされていた時の実践を基に、子どもたちに消費者としての素地がどのように育まれたのか、それによって子どもたちの中で持続可能な社会のための選択肢がどのように変化したのかを実際の子どもの反応やアンケートによる結果を基に紹介してくださいました。

清永先生は学習指導要領に示された内容の順に授業を行うのではなく、衣食住生活領域に関して、消費生活・環境の視点から子どもたちに継続的に学んでもらうため、内容を入れ替えてカリキュラムを組まれました。「消費生活・環境」を「衣食住生活」の前にもってくることで子どもたちに衣食住生活領域でも消費生活・環境の視点から学習内容を考える視点を持たせておられました。持続可能な社会を創るための視点を持ち主体的に行動する子どもの育成は、家庭科やその他の教科でも必要となってくるものであり、清永先生の実践や前回の財津先生の教材研究のお話を年間計画や授業づくりに生かしていきたいと思いました。

また、清永先生は“面白い授業を子どもたちは家庭の人に伝える”と話されていました。子どもたちが面白いと思うためには、教師自身がその教材や題材自体に面白さを感じることや熱心に研究すること、その成果を授業に生かしながら子どもたちと授業を作り上げていくことが大切になると感じ、授業づくりをする際には私自身も楽しみ、子どもたちが楽しんで授業に参加できるような授業、子どもたち同士や子どもと先生との相互作用によって学びの深まるような授業を作りたいと思いました。(文責:大橋)

連絡先: 家庭科の授業を語る会 (事務局)

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美 (大学院教育学研究科) : Tel/Fax 0985-58-7539 (直通)

: メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

大矢 英世 (教育学部) : Tel/Fax 0985-58-7542 (直通)

: メールアドレス hidevo@cc.miyazaki-u.ac.jp

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ: <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter: [fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために](https://twitter.com/fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために) <https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi>